

佐藤大四郎 さいとう だいじろう 農事運動家。明治四十二年十一月（二十一年）自東京市  
淡草區生れ。昭和十八年五月十日没（一九〇九―四二）。昭和二年第一高等  
學校入學も、『無産青年』編輯の職あるなどして五年除名処分。翌五年  
日本共産青年同盟に加盟。うち特高に逮捕せられ八年保釋。翌五年大連  
に渡り滿洲評論社入社、十年編輯責任者。翌五年橋樑著作（『支那社會  
研究』、『支那思想研究』）を編輯出版。十一任退社して綏化縣農事  
合作社に参加。次で、綏化縣農村協同組合方針大綱（昭和十一年刊）、  
『滿洲に於ける農村協同組合運動の建設』（昭和十二年刊）等著する  
す。十二年關東軍憲兵隊に逮捕せられ、奉天監獄に於て死亡。

田中、武夫著 『橋樑と佐藤大四郎―合作社事件・佐藤大四郎の生涯』（昭  
和五十年二月）二十五年龍溪書局（）がある。

